

会津若松の春 桜めぐり

今回のフォトアルバムは、穏やかな陽気に包まれる会津若松市の春をお伝えします。春と言えば、桜の季節。毎年この時期は、多くの観光客で賑わう会津若松市ですが、今年は大河ドラマ『八重の桜』放映の影響で例年より多くの皆様にお越しいただきました。

鶴ヶ城



会津若松市を代表する桜のスポットと言えば、やはり『鶴ヶ城』。約1,000本の桜が、訪れる人を華やかに出迎えてくれます。幕末の戊辰戦争で約1か月におよぶ激しい籠城戦にも耐えた鶴ヶ城は、2011年3月に国内唯一の赤瓦に葺き替えられました。美しい桜の色のコントラストが相まって

何とも言えない風情を醸し出していました。
(撮影日 2013/4/23)



石部桜

石部桜は、会津若松市を代表する樹齢約600年と言われるエドヒガンザクラです。10本の幹からなり、樹高11メートル、枝張は約20mあります。周囲を田畑に囲まれているため、より一層その大きさが目立ちます。大河ドラマ『八重の桜』のオープニングに登場する桜がこの「石部桜」です。
(撮影日 2013/4/25)



河東工業団地

河東工業団地でも、団地内へ向かう沿道や河東総合体育館周辺を中心として、桜で春を感じることができます。
(撮影日 2013/4/25)



ご紹介したスポット以外にも、会津若松市には桜の名所が盛りだくさんです。来年は、会津若松市内の桜を巡ってみてはいかがでしょうか。